

実践報告 社会

従来の風土、文化、慣習を点検し、 大和ハウス流の人的資本経営を つくりあげる

常務執行役員
人事担当
人財・組織開発担当
サステナビリティ担当
ヒューマンライツ担当
石崎 順子

担当役員メッセージ

生きる歓びを、未来の景色に。
～私たちの“将来の夢”の実現に向けて～

当社グループでは昨年、創業100周年をむかえる2055年に向け「大和ハウスグループが創り出したい社会」と「私たちの役割」を示す“将来の夢”をパーパスとして策定しました。これから私たちが、その実現に向け事業を行っていくなかで、一番大切なのは「人」であり、従業員一人ひとりのパーパスに基づいた意識や行動です。私たちがパーパスに基づいた行動をとり続けていかなければ、“将来の夢”は絵に描いた餅にすぎません。

創業者 石橋信夫が、社是の第一に「事業を通じて人を育てる」を掲げていることから、創業者精神の根幹は「人」にあると認識しています。いくら科学技術が発達し、便利な世界が広がったとしても、最後は「人」の力が違いを生みます。当社グループの強みは「人」でなくてははいけません。

めまぐるしく変化し想定外のことがたくさん起きる時代において、「人の力」で新しい価値を生み出していくためには、従業員一人ひとりが、社会から感じとること、自ら何ができるかを考え判断し行動すること、広く発信し連携していくことが必要であると考えています。そしてこれらのことは、今だけでなく、2055年までも、それ以降も続けなくてははいけないと考えています。

私たちは、個々が持つ能力を大切にしながら、各々が有機的につながり連携し、ぶつかり合うことで、よりよい化学変化を起こしていきます。そして、全員でその変化を楽しみながら螺旋階段を上るように進んでいくことで、「未来の景色」はもっとよいものになると信じています。

実践報告 社会

これからの組織づくり ～働きがいと仕事に誇りをもてる会社～

先ほどもお伝えした通り、当社グループは「人」を大事にしてきた会社です。これからは、今まで以上に個人の能力や考え方、経験値など一人ひとりが培ってきた力と、その力を対話によってつなぐことが重要になってくると考えています。これらは当たり前のことかもしれませんが、今のままでは実現しません。

そこで2022年度からの第7次中期経営計画では、これまでの人事制度や諸制度、職場環境などの点検と再設計を推進します。多様性をただ認めるだけでなく、人財戦略に組み込み、

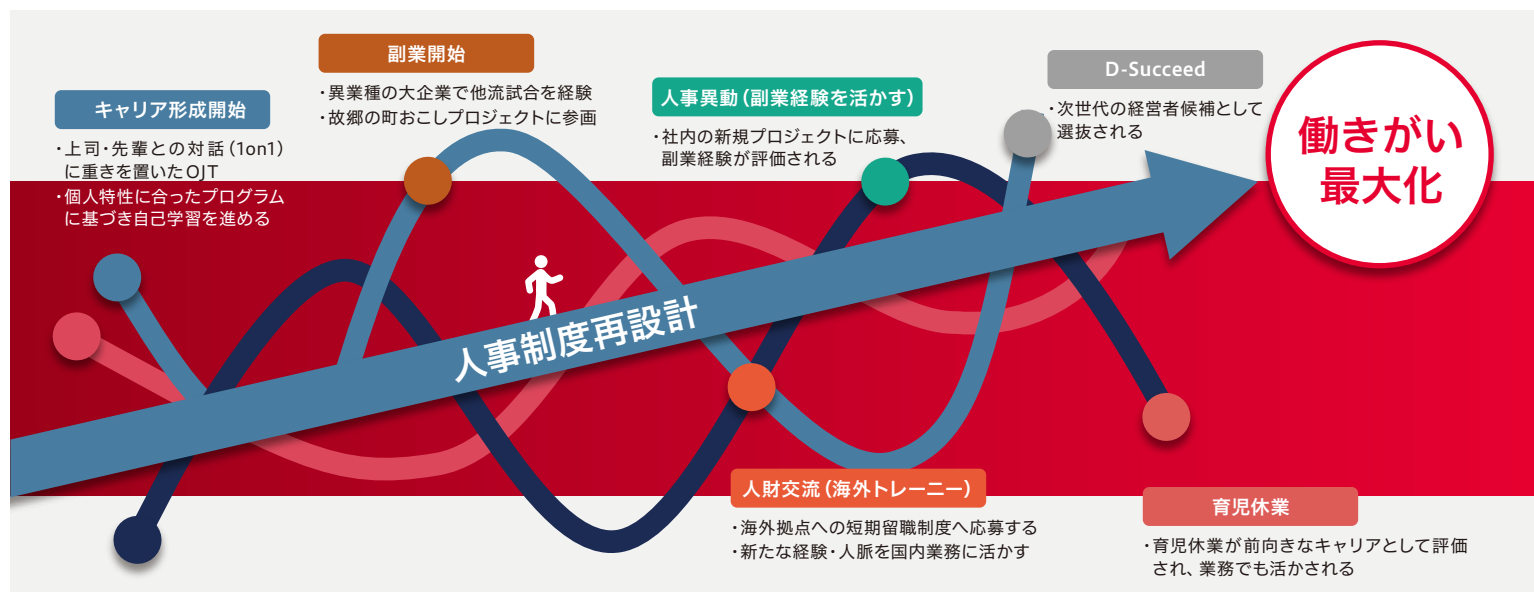
新しい価値創造につなげるために、大和ハウス流の人的資本経営の基礎をしっかりと固めていきます。守るべきものと変えるべきものを、未来志向で徹底的に議論していきます。

個の成長がない限り、組織の成長などないと考えています。人は「働きがい」を感じていないと探求することを止めてしまいますし、仕事への「誇り」を感じていないと前進のあゆみを止めてしまうと考えています。私は、前職でマンションやビルなどの建物管理を主業務とする会社の社長を務めました。建物管理の仕事は、既定通りに掃除をして、周囲を点検して、お客さまからの問い合わせなどに対応をして帰っていくというルーティーン業務が大半を占めます。ルールにそって業務をそつなくこなす従業員もいますが、例えば掃除

一つをとっても、もっときれいにするためにはどうすればよいか、お客さまとよりよいコミュニケーションをとるためにはどうすればよいか、お客さまの顔と名前を覚えるにはどうすればよいかを考え、工夫して実践する従業員もいます。その従業員は、決して難しいことをしようとしたわけではなく、ただお客さまのことを考え、笑顔になってもらうためにはどうすればよいか、自ら考え実践しただけです。結果としてお客さまからの感謝やお褒めの言葉がいただけることで、働きがいや誇りとなり、さらによりよくするためにはどうすればよいかという探求力と前進力につながっていくのです。

会社という組織のなかでは、ルールや目標数字があって、それを達成することが目的になってしまいがちです。組織として目指すものは何なのか、それをしっかりと見据えて、一人ひとりが自分らしく自然に働き成長できる企業でありたい、それをつくることが私のミッションだと感じています。

■個のキャリアプランイメージ（第7次中期経営計画より）



実践報告 社会

コトクリエは共育・共創の場

当社グループは昨年、地域のこどもたちを中心とした“共育活動”、さまざまなステークホルダーとの“共創活動”、大和ハウスグループの新たな事業価値を生む“社員教育”の拠点として「みらい価値共創センター」（愛称:コトクリエ）を開所しました。コトクリエではコンセプトにSDGs（持続可能な開発目標）を取り入れ、誰もが分け隔てなく学べるための設計や工夫を行っています。また、それぞれの活動が社員教育とも融合しながら、「誰もが自分らしくイキイキとするにはどうしたら良いか」ということを、地域社会も含めて一緒に考え生み出していく「会所」でもあります。

“将来の夢”で描いている2055年の世界は、30年以上先の世界です。さまざまな専門家たちの未来予測はあるものの、

実際にどのような世の中になっているのかは、誰にもわかりません。わかっていることは、どのような世界になっても、私たちはそのなかで生きていかなければいけないということです。文化背景やジェンダー、障がいの有無などの属性に限らず、一人ひとりが持つ「経験」や「感性」などの違いを「可能性」として持ち寄り、未来志向で議論していくことで、どのような状況も乗り越えられる、しなやかな社会を創っていくことができると思います。

パートナーと“共に創る。共に生きる。”

従業員が自分らしく自然でいられる会社を目指すには、自分が思っていることを自由に発言し表現できること、そして共感し合える関係づくりが大事です。従業員だけでなく、お客さまや取引先などのステークホルダーとの関係性におい

ても、対話を通じて新しい価値を一緒に創り出していけるような、良いパートナーシップを築いていくことが重要です。これからも当社グループは“共に創る。共に生きる。”を大切に、パートナーと共に「生きる歓びを分かち合える世界」を創っていきます。



コトクリエ外観

